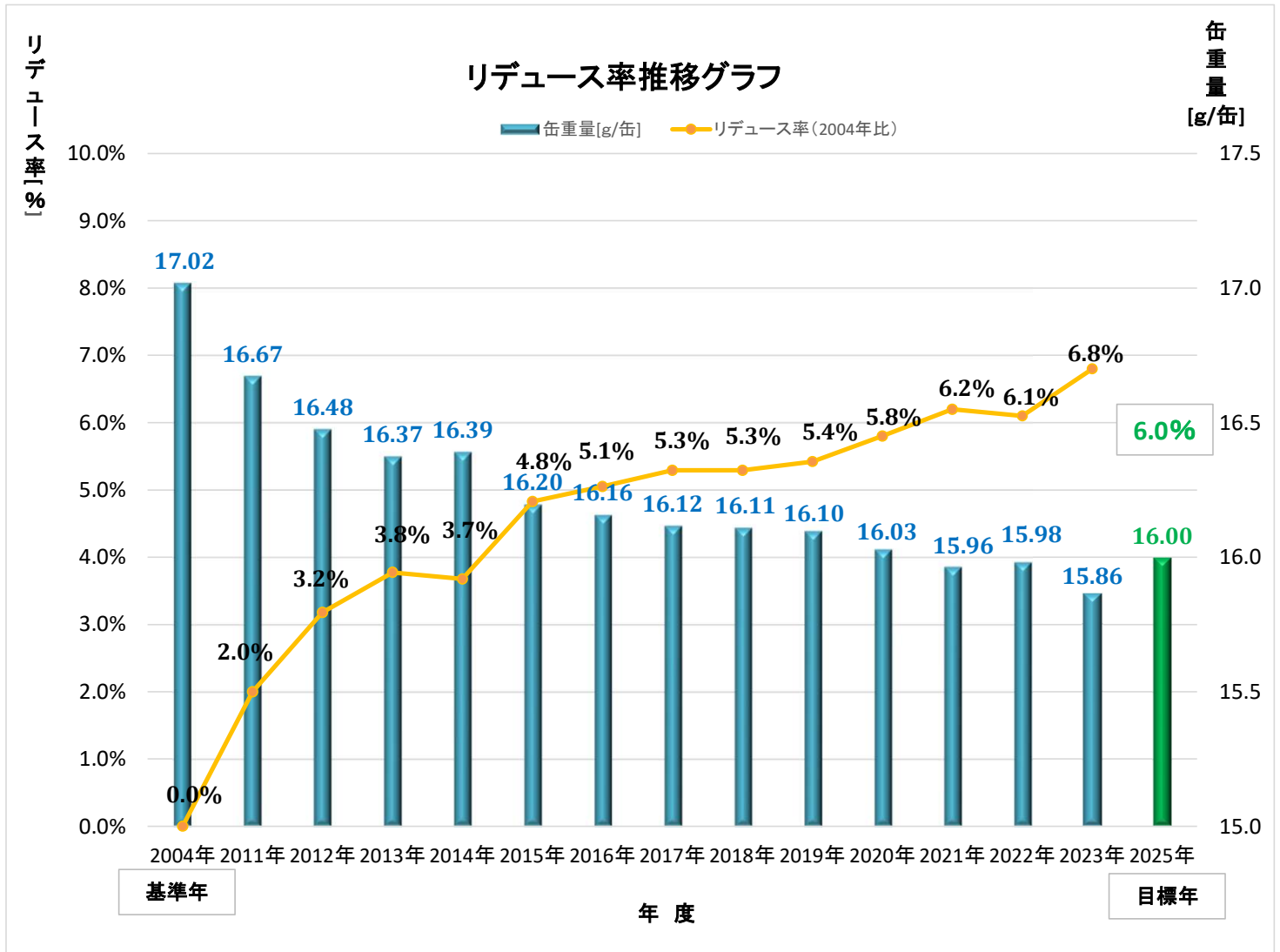


2023年 飲料用アルミ缶リデュース実績

3R推進活動の一環として、リデュースは2025年に2004年比6.0%以上の軽量化を目指し取り組んでいます。昨年は、SOT缶にて胴部や缶底の薄肉化による軽量化が進み、またボトル缶でも清涼飲料向けを中心に胴部の薄肉化が進み、リデュース率は一気に上昇して6.8%となりました。これにより、現在の目標である「2004年比6.0%以上の軽量化」は3年連続で達成されました。この成果は、圧延メーカー、製缶メーカー、飲料メーカー等の協働作業により達成したのですが、関連業界ではこれに満足することなく、環境負荷の低減を更に進めるために、引き続き連携して軽量化に取り組んでまいります。



以上